PCKey-3用

ファイルサーバー
対応機能ガイド

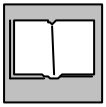
株式会社 アイ・オー・データ機器

81043-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

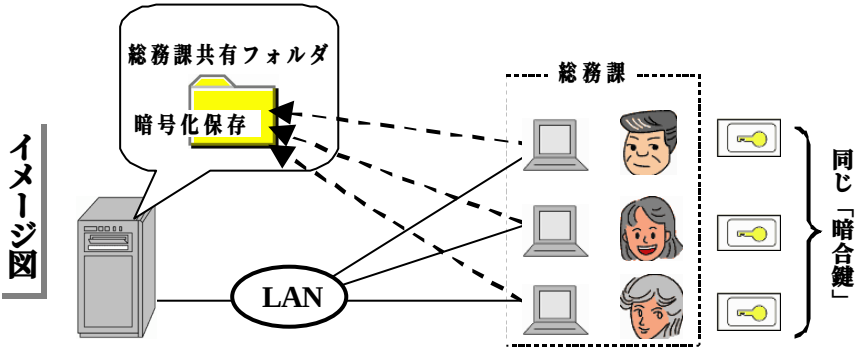
呼び方	意　味
ユーザフォルダ	本製品にて暗号化を行うフォルダ
ユーザ	本書の機能を実際にお使いになる方
クライアント	クライアントパソコンの略 ユーザが操作するパソコン
サーバー	ファイルサーバーの略
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System や Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0

本書の概要

本書では、ファイルサーバー上でPCKey-3を利用するための機能について説明しています。

「共有フォルダ」利用機能(グループで使用する)

ファイルサーバー上の共有フォルダをユーザフォルダに指定し、データを暗号化保存することができます。
グループ内でデータの共有をするときなどに便利です。



●ユーザフォルダについて

ユーザフォルダの状態などについて説明をします。

- **場所……任意**
  共有フォルダを作成し、ユーザフォルダに指定します。
  ただし、場所はサーバーOSの規約に準じます。

- **可視性……可視**
  グループでの利用を想定している機能のため、PCKey-3カードを挿入していないときでもフォルダは表示されています。

- **属性の変更……禁止**
  グループでの利用を想定している機能のため、属性の変更はできません。

- **名称の変更……禁止**
  グループでの利用を想定している機能のため、名称の変更はできません。

●サーバー上のイメージ

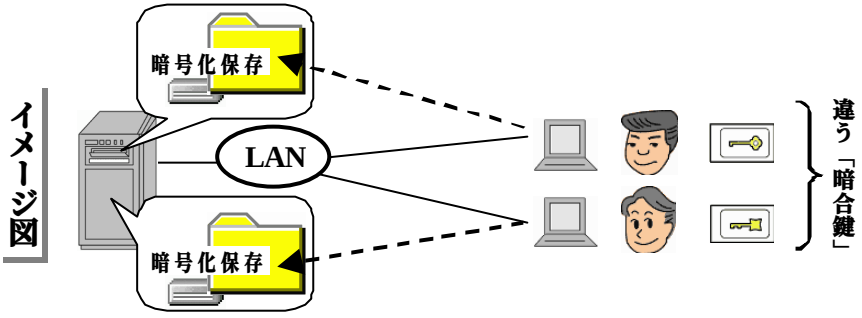
ユーザフォルダの状態などについて説明をします。



「ネットワークドライブ」利用機能(個人で使用する)

ファイルサーバー上のフォルダをネットワークドライブに割り当てて、そこにユーザフォルダを作ることができます。

もちろん、データは暗号化されていますので本人以外が読むことはできません。



●ユーザフォルダについて

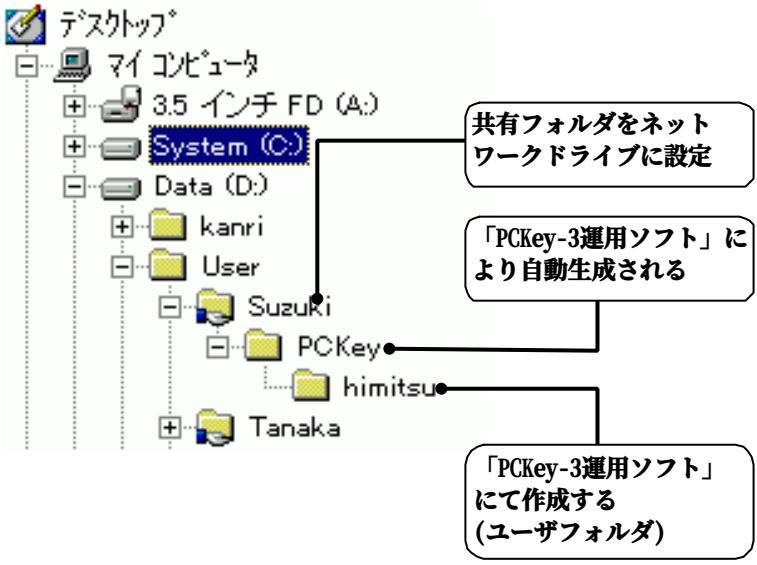
ユーザフォルダの状態などについて説明をします。

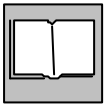
- **場所・・・・・・・・・・・・・・・ネットワークドライブ内［PCKey］フォルダの下**
  ローカルドライブでの使用と同様に、ネットワークドライブのルートに［PCKey］フォルダが生成され、その下にユーザフォルダを作成します。
  ［PCKey］フォルダやユーザフォルダは、クライアントにて作成されます。

- **可視性・・・・・・・・・・・・・・・

●サーバー上のイメージ

ユーザフォルダの状態などについて説明をします。





もくじ

お読みになる前に.....i
本書の概要.....ii
もくじ.....vi

「共有フォルダ」利用機能を使おう・・・・・・・・・1

機能と動作環境について 2

導入作業について..... 4
作業1：共有フォルダの作成..... 4
作業2：暗合鍵の決定..... 5
作業3：確認用ファイルの作成..... 6
作業4：ユーザの登録..... 6
作業5：共有フォルダの指定..... 7
作業6：確認用ファイルの確認..... 9

「ネットワークドライブ」利用機能を使おう・・・・・11

機能と動作環境について 12

導入作業について..... 14
作業1：共有フォルダの作成..... 14
作業2：ネットワークドライブのマウント..... 15
作業3：ユーザの登録..... 16
作業4：ネットワークドライブの指定..... 17

付録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

困った時には..... 20

運用のヒント..... 27

お問い合わせ先変更のお知らせ 29

「共有フォルダ」利用機能を使おう

機能と動作環境について

機能とその動作環境について説明します。(2ページ)

▼

導入作業について

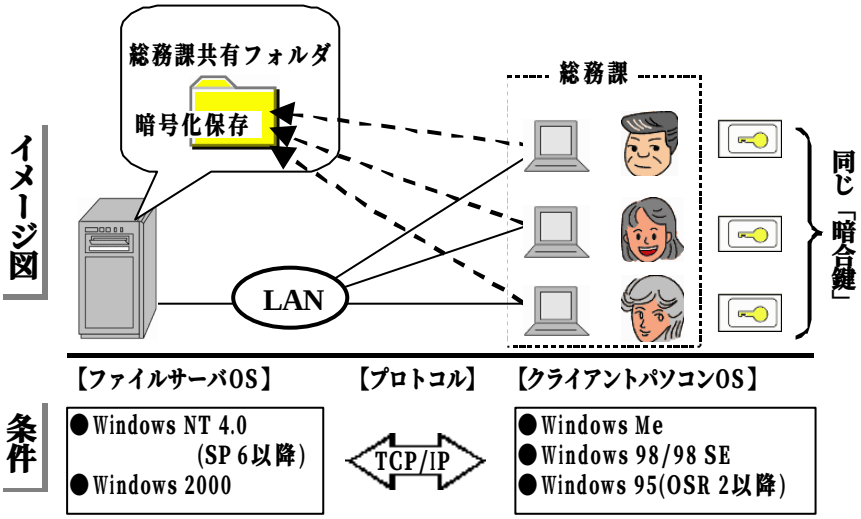
機能を使うための設定について説明します。(4ページ)

機能と動作環境について

「共有フォルダ」利用機能について説明します。

◆ 「共有フォルダ」利用機能(グループで使用する)

ファイルサーバー上の共有フォルダをユーザフォルダに指定し、データを暗号化保存することができます。
グループ内でデータを共有するときなどに便利です。



運用上のポイント

- "同じ共有フォルダを利用するユーザ"は、"同じ「暗号鍵」"を使わなければいけません。
- 共有フォルダにデータを保存する際は、必ず「PCKey-3運用ソフト」を起動しておいてください。

◆ 動作環境

対応OS(日本語版のみ)	**ファイルサーバー** Windows NT 4.0(SP 6以降) Windows 2000 **クライアントパソコン** Windows Me, Windows 98(Second Editionを含む), Windows 95(OSR 2以降)
使用プロトコル	TCP/IP
共有フォルダ	利用グループ単位で用意 **※フルアクセス可能な設定(パーミション設定)にしてください。**
PCKey-3用 暗合鍵/ユーザID/パスワード	共有フォルダ毎に１つ **※同じ共有フォルダを利用するメンバーは、同じ「暗合鍵/ユーザID/パスワード」を使います。**

参考
データ資産を保全するために、定期的にデータをバックアップすることをおすすめします。

導入作業について

「共有フォルダ」利用機能を使うための導入作業について説明します。

作業を行う前に
PCKey-3をすでにお使いの場合は、「PCKey-3取扱説明書」内の【インストールした情報を削除するには】にある作業を行ってください。

流れ	作業
事前準備	作業１：共有フォルダの作成(4ページ) 作業２：暗合鍵の決定(5ページ) 作業３：確認用ファイルの作成(6ページ)
登録作業	作業４：ユーザの登録(6ページ)
設定作業	作業５：共有フォルダの指定(7ページ) 作業６：確認用ファイルの確認(9ページ)
作業完了	作業完了：導入作業の完了(9ページ)

作業１　共有フォルダの作成

本作業は・・・
本作業は、サーバー管理者が行ってください。

暗号化を行う共有フォルダをサーバー上に作成してください。
※ すでに対象の共有フォルダがある場合は、新しく作成する必要はありません。
なお、共有フォルダはフルアクセス可能な設定(パーミション設定)にする必要があります。

すでに対象の共有フォルダがある場合
対象の共有フォルダ内にあるすべてのデータを待避コピーしてください。
待避コピーしたデータは、導入作業が終わってから共有フォルダにコピーしてください。

作業２　暗合鍵の決定

本作業は･･･
本作業は、サーバー管理者が行ってください。

共有フォルダの暗号化を行うための暗合鍵（「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」）を決めます。
共有フォルダを利用するグループ内では、暗合鍵を統一してください。

項目	内容	入力可能文字	最大文字数
ユーザID	ユーザ固有のIDです。ユーザを認証するために使用されます。 **※同じPCKey-3カード内に、同一のユーザIDを複数登録できません。**	**英数半角文字**	16文字
パスワード	ユーザ固有のパスワードです。 ユーザを認証するために使用されます。	**英数半角文字 記号**	16文字
鍵情報	ユーザ固有の鍵情報です。 暗号鍵を作るために使用されます。	**英数半角文字 記号**	16文字

※ **英数半角文字**　A～Z，a～z，0～9
　　記号　　!"#$%&'()=~\^_-*　/+.,?[]{}

注意！！
・暗合鍵（「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」）は必ずメモなどを取り、第三者に漏洩しないように保管してください。
暗合鍵を忘れた場合、弊社にご連絡いただいても対応いたしかねます。
・半角英字は大文字と小文字を区別します。
大文字と小文字の区別をしっかりつけて入力してください。

作業３　確認用ファイルの作成

本作業は･･･
本作業は、サーバー管理者が行ってください。

決定した暗号鍵を使って暗号化したファイルを共有フォルダに置きます。
そのファイルを「確認用ファイル」と呼称します。

確認用ファイルとは？
正しい暗号鍵で暗号化したファイルです。
ユーザは、共有フォルダ指定後にこれを開くことで、設定が正しいかを確認します。
確認用ファイルを作成したら、ユーザにファイル名を公開してください。

作業４　ユーザの登録

実際に使うPCKey-3カード毎にこの作業は必要です。
PCKey-3カードに共有フォルダを利用するためのユーザを登録します。

ユーザの登録を行う前に
・ユーザの登録作業は「サーバー管理者」や「グループの代表」がまとめて行うことをおすすめします。万が一「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」が漏洩すると暗号が解読されてしまいます。
・本作業を行うには、「PCKey-3管理ツール」が必要です。作業を行う人は［管理ツール＋運用ソフト］のインストールを行ってください。

前ページの【作業２】で決めた「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」を入力し、PCKey-3カードにユーザを登録します。
「PCKey-3取扱説明書」の【ユーザ登録しよう】をご覧になり、作業を行ってください。

作業５　共有フォルダの指定

実際に使うパソコン毎にこの作業は必要です。

「PCKey-3運用ソフト」にて、サーバー上にある共有フォルダを指定します。

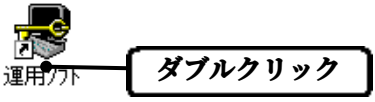
共有フォルダの指定を行う前に
本作業を行うには、「PCKey-3運用ソフト」が必要です。
インストールされていない場合は、［運用ソフト］のインストールを行ってください。

1　パソコンを起動します。

2　PCKey-3カードを挿入します。

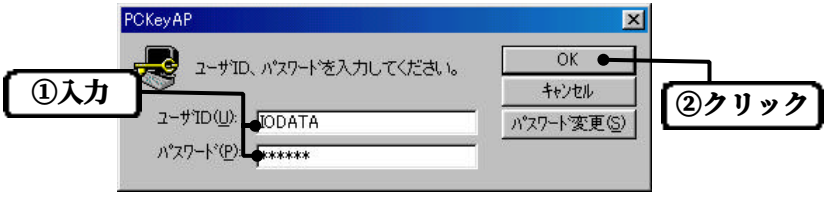
3　［運用ソフト］アイコンをダブルクリックします。

デスクトップ上にある［運用ソフト］アイコンをダブルクリックします。

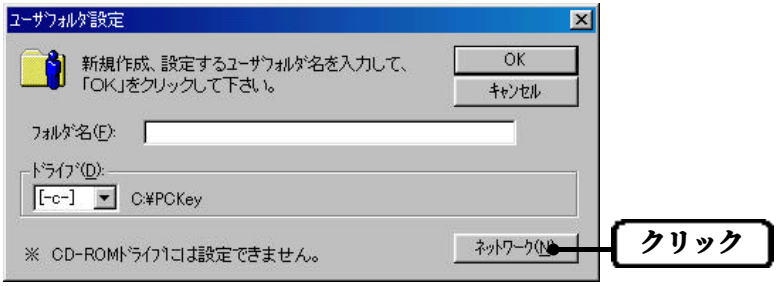


4　「ユーザID」,「パスワード」を入力します。

入力し終えたら、［OK］ボタンをクリックします。



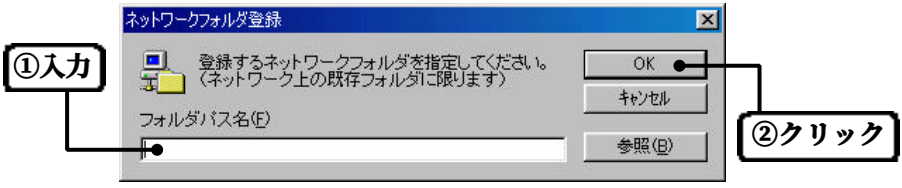
5 ［ネットワーク］ボタンをクリックします。



必ず［ネットワーク］ボタンにて指定してください！！
共有フォルダの場所を指定する際は、必ず［ネットワーク］ボタンにて行ってください。
※［ネットワーク］ボタン以外にて指定した場合は、「ネットワークドライブ」利用機能(ivページ参照)扱いになります。

6 共有フォルダを指定します。

共有フォルダの場所を［フォルダパス名］か［参照］ボタンにて指定します。
指定したら、［OK］ボタンをクリックします。



共有フォルダの場所が分からない場合は
サーバー管理者にお尋ねください。

作業６　確認用ファイルの確認

実際に使うパソコン毎にこの作業は必要です。

「PCKey-3運用ソフト」を起動し、確認用ファイルを開きます。

内容が正しく表示されれば、導入作業は正常に完了しています。

内容が正しく表示されないなら、サーバー管理者に指示をもらってください。

確認用ファイルとは？

サーバー管理者があらかじめ用意した、暗号化されたファイルです。
確認用ファイルの名前が分からない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。

作業完了　導入作業の完了

以上で作業は完了です。

以後お使いの際は、「PCKey-3運用ソフト」にてログインした後で、共有フォルダのファイルを保存・読み出ししてください。

ご注意！！

共有フォルダのデータを保存・読み出しする際は、「PCKey-3運用ソフト」を必ず起動してください。
正しく取り扱わないと、データが二重に暗号化されるなどにより、データが正常に読めなくなることがあります。
くわしくは、PCKey-3取扱説明書の【応用のための知識】(89ページ)をご覧ください。

MEMO

「ネットワークドライブ」利用機能を使おう

機能と動作環境について

機能とその動作環境について説明します。(12ページ)

▼

導入作業について

機能を使うための設定について説明します。(14ページ)

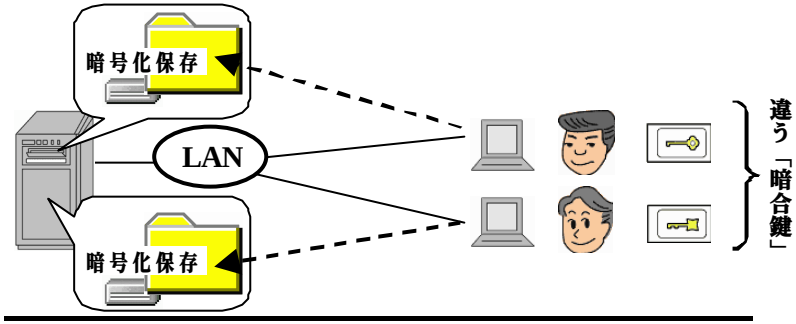
機能と動作環境について

「共有フォルダ」利用機能について説明します。

◆ 「ネットワークドライブ」利用機能(個人で使用する)

ファイルサーバー上のフォルダをネットワークドライブに割り当てて、そこにユーザフォルダを作ることができます。
もちろん、データは暗号化されていますので本人以外は読むことができません。

イメージ図



条件

【ファイルサーバOS】	【プロトコル】	【クライアントパソコンOS】
● Windows NT 4.0 (SP 6以降) ● Windows 2000	TCP/IP	● Windows Me ● Windows 98/98 SE ● Windows 95(OSR 2以降)

運用上のポイント

- ネットワークドライブを利用するユーザは、それぞれ異なる「暗号鍵」を使います。
- ネットワークドライブにデータを保存する際は、必ず「PCKey-3運用ソフト」を起動しておいてください。

◆ 動作環境

対応OS(日本語版のみ)	**ファイルサーバー** Windows NT 4.0(SP 6以降) Windows 2000 **クライアントパソコン** Windows Me, Windows 98(Second Editionを含む), Windows 95(OSR 2以降)
使用プロトコル	TCP/IP
ネットワークドライブ	利用するユーザ毎に１つ **※クライアントパソコンにマウントされていること。**
PCKey-3用 暗合鍵/ユーザID/パスワード	ネットワークドライブ上のユーザフォルダ毎に１つ

導入作業について

「ネットワークドライブ」利用機能を使うための導入作業について説明します。

作業を行う前に
PCKey-3をすでにお使いの場合は、「PCKey-3取扱説明書」内の【インストールした情報を削除するには】にある作業を行ってください。

流れ	作業
事前準備	作業１：共有フォルダの作成(14ページ) 作業２：ネットワークドライブのマウント(15ページ)
登録作業	作業３：ユーザの登録(16ページ)
設定作業	作業４：ネットワークドライブの指定(17ページ)
作業完了	作業完了：導入作業の完了(18ページ)

作業１　共有フォルダの作成

本作業は･･･
本作業は、サーバー管理者が行ってください。

サーバー上に、ネットワークドライブ割り当て用の共有フォルダを作成してください。
すでに対象の共有フォルダがある場合は、新しく作成する必要はありません。

作業2　ネットワークドライブのマウント

サーバー上の共有フォルダを、ネットワークドライブとしてマウントしてください。

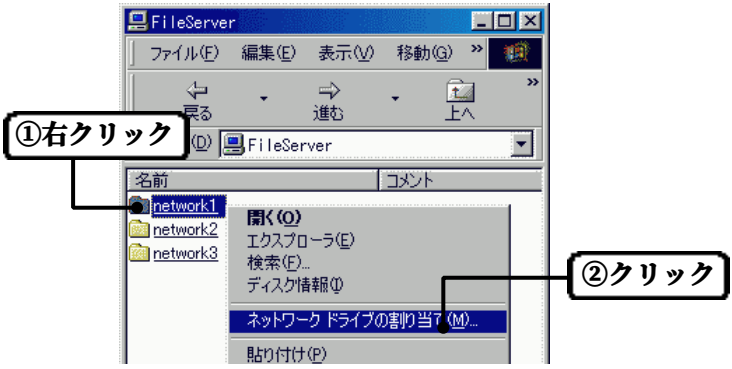
ネットワークドライブの場所が分からない場合は
サーバー管理者にお尋ねください。

1　［ネットワークコンピュータ］を起動します。

デスクトップ上にある［ネットワークコンピュータ］(［マイネットワーク］)アイコンをダブルクリックします。

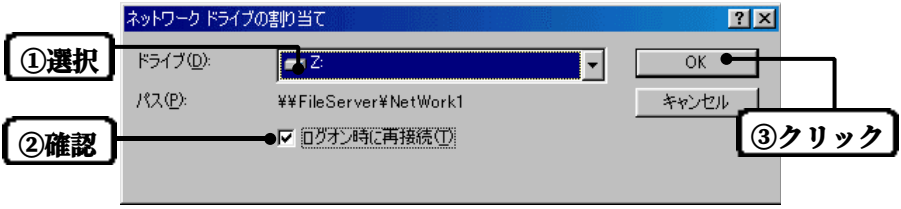
2　ネットワークドライブにする共有フォルダを指定します。

①ネットワークドライブにする共有フォルダを右クリックします。
②表示された［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。



3　ネットワークドライブに割り当てます。

①割り当てるドライブを選択します。
②［ログオン時に再接続］がチェックされていることを確認します。
③［OK］ボタンをクリックします。



作業３　ユーザの登録

ネットワークドライブ上のユーザフォルダを利用するため、PCKey-3カードにユーザを登録します。

ユーザの登録を行う前に
本作業を行うには、「PCKey-3管理ツール」が必要です。
作業を行う人は［管理ツール＋運用ソフト］のインストールを行ってください。

1　暗合鍵を決めます。

暗号化を行うための暗合鍵(「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」)を決めます。

項目	内容	入力可能文字	最大文字数
ユーザID	ユーザ固有のIDです。ユーザを認証するために使用されます。 **※同じPCKey-3カード内に、同一のユーザIDを複数登録できません。**	**英数半角文字**	16文字
パスワード	ユーザ固有のパスワードです。 ユーザを認証するために使用されます。	**英数半角文字** **記号**	16文字
鍵情報	ユーザ固有の鍵情報です。 暗号鍵を作るために使用されます。	**英数半角文字** **記号**	16文字

※ **英数半角文字**　A～Z，a～z，0～9
　　記号　　!"#$%&'()=~\^_-*　/+.,?[]{}

注意！！
・暗合鍵（「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」）は必ずメモなどを取り、第三者に漏洩しないように保管してください。
暗合鍵を忘れた場合、弊社にご連絡いただいても対応いたしかねます。
・半角英字は大文字と小文字を区別します。
大文字と小文字の区別をしっかりつけて入力してください。

2　ユーザを登録します。

手順１で決めた暗合鍵を入力し、ユーザを登録します。
「PCKey-3取扱説明書」の【ユーザ登録しよう】をご覧になり、作業を行ってください。

作業４　ネットワークドライブの指定

「PCKey-3運用ソフト」にて、ネットワークドライブを指定します。

共有フォルダの指定を行う前に
本作業を行うには、「PCKey-3運用ソフト」が必要です。
インストールされていない場合は、［運用ソフト］のインストールを行ってください。

1 パソコンを起動します。

2 PCKey-3カードを挿入します。

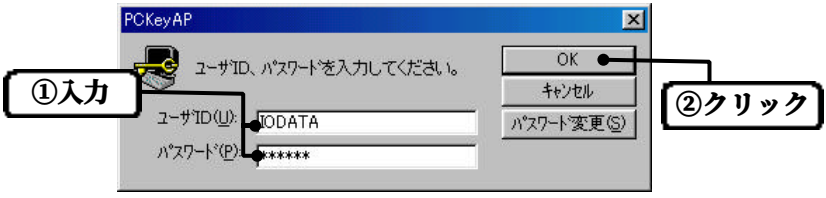
3 ［運用ソフト］アイコンをダブルクリックします。

デスクトップ上にある［運用ソフト］アイコンをダブルクリックします。



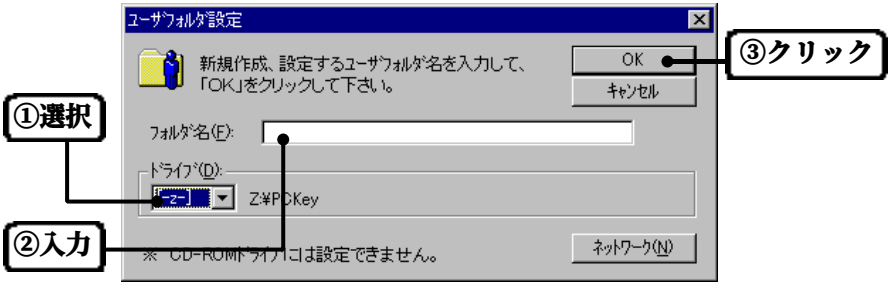
4 「ユーザID」,「パスワード」を入力します。

入力し終えたら、［OK］ボタンをクリックします。



5 ユーザフォルダを指定します。

①［ドライブ］にて、ネットワークドライブを選択します。
②［フォルダ名］に、ユーザフォルダ名を入力します。
③［OK］ボタンをクリックします。



［ネットワーク］ボタンをクリックしないでください！！
「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの際は、この画面で指定してください。
※［ネットワーク］ボタンにて指定した場合は、「共有フォルダ」利用機能(iiページ参照)扱いになります。

作業完了　導入作業の完了

以上で導入作業は完了です。
以後お使いの際は、「PCKey-3運用ソフト」にてログインした後に、ネットワークドライブ上にある［PCKey］フォルダ内のファイルを保存・読み出ししてください。

ご注意！！
［PCKey］フォルダ内のデータを保存・読み出しする際は、「PCKey-3運用ソフト」を必ず起動してください。
正しく取り扱わないと、データが二重に暗号化されるなどにより、データが正常に読めなくなることがあります。
くわしくは、PCKey-3取扱説明書の【応用のための知識】(89ページ)をご覧ください。

付録

困った時には

本書で説明している機能を使っていて
問題が発生した場合にお読みください。
(20ページ)

▼

運用のヒント

機能を運用する上のヒントを説明します。
(27ページ)

困った時には

本書で説明している機能を使っていて、問題が発生した場合にお読みください。

問題	解決するのは？	
	ユーザ	サーバー管理者
暗号鍵(「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」)を忘れてしまった	２１	２４
フォルダを指定できない	２１	２４
ファイルが暗号化されない	２２	－
ファイルが復号されない	２２	－
ユーザフォルダの名前を変更したい	２３	２５
ファイルが正しく表示されない	２３	－
フォルダを間違って指定してしまった	－	２６

ユーザが解決する

暗号鍵(「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」)を忘れてしまった

対処１　「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合

ユーザは通常、暗号鍵を知らされていません。
サーバー管理者などの暗号鍵を知っている方にお聞きください。

対処２　「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合

暗号鍵を判明する方法はありません。
暗合鍵は必ずメモなどを取り、第三者に漏洩しないように保管してください。暗合鍵を忘れた場合、弊社にご連絡いただいても対応いたしかねます。

フォルダを指定できない

対処１　「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合

共有フォルダが作られていないか、アクセス権がありません。
サーバー管理者にお問い合わせください。

対処２　「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合

ネットワークドライブの割り当てをしていません。
【ネットワークドライブの指定】(17ページ)をご覧になって割り当てを行ってください。
割り当てをしたいフォルダにアクセスできない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。

ファイルが暗号化されない

対処１　PCKey-3運用ソフトが起動されていない

PCKey-3運用ソフトを起動してください。
起動していないと、暗号化／復号は行われません。

対処２　ファイルをコピーしていない

ユーザフォルダにファイルを入れる際は、必ず「コピー」（元のファイルが残っている状態）してください。
「移動」（元のファイルが消えている状態）した場合は、暗号化されません。

ファイルが復号されない

対処１　PCKey-3運用ソフトが起動されていない

PCKey-3運用ソフトを起動してください。
起動していないと、暗号化／復号は行われません。

対処２　ファイルをコピーしていない

ユーザフォルダからファイルを取り出す際は、必ず「コピー」（元のファイルが残っている状態）してください。
「移動」（元のファイルが消えている状態）した場合は、復号されません。

対処３　設定が間違っている

設定が間違っている可能性があります。
開いていたファイルを**保存せずに**閉じた後、サーバー管理者にご連絡ください。

ユーザフォルダの名前を変更したい

対処１　「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合

共有フォルダの名前はサーバー側で決定しています。
ユーザはその名前を変更することはできません。

対処２　「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合

PCKey-3運用ソフトにより、変更することができます。
詳しくは「PCKey-3取扱説明書」をご覧ください。

ファイルが正しく表示されない

対処１　PCKey-3運用ソフトが起動されていない

PCKey-3運用ソフトを起動してください。
起動していないと、暗号化／復号は行われません。

対処２　設定が間違っている

設定が間違っている可能性があります。
開いていたファイルを**保存せずに**閉じた後、サーバー管理者にご連絡ください。

サーバー管理者が解決する

暗号鍵(「ユーザID」,「パスワード」,「鍵情報」)を忘れてしまった

対処１ **「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合**

ユーザよりPCKey-3カードを受け取り、ユーザの登録を行ってください。
もしくは、グループの代表などの暗号鍵を知っている方に連絡をしてください。

対処２ **「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合**

暗号鍵は、ユーザ側で設定しています。
サーバー管理者には、暗号鍵を判明する方法がありません。

フォルダを指定できない

対処１ **「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合**

共有フォルダが作られていないか、アクセス権を与えていません。

対処２ **「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合**

ネットワークドライブ用のフォルダを作成していない場合は、作成してください。

ユーザフォルダの名前を変更したい～組織変更・異動

対処１　「共有フォルダ」利用機能をお使いの場合

この作業はシステムの変更になりますので、ご注意ください。

下の手順にて、フォルダ名を変更してください。

≪共有フォルダ名の変更方法≫

ユーザへの影響について
フォルダ名を変更すると、ユーザからはフォルダが無くなったように見えます。ユーザがアクセスしない時に、本作業をすることをおすすめします。

1　名前を変更するフォルダ内のデータをバックアップします。

2　フォルダ名を変更します。

3　ユーザに新しいフォルダ名を公開します。

ユーザに新しいフォルダ名を公開します。

前のフォルダにユーザがアクセスしようとすると、フォルダの指定を求められますので、新しいフォルダをユーザに指定してもらってください。

対処２　「ネットワークドライブ」利用機能をお使いの場合

ユーザ側で変更できます。

フォルダを間違って指定してしまった

対処　間違った設定を修正する

下の手順にて、正しい設定に修正してください。

≪間違ったフォルダ指定の修正方法≫

1　ユーザが間違って指定したフォルダを調査します。

どこのフォルダを指定したかを調査します。
また、そのフォルダで誤操作をしたファイルがないか、調査します。

誤操作したファイルの復帰方法
- **二重に暗号化していたファイルの場合は、暗号化の反対の順で復号を行ってください。**
- **暗号化していないのに復号をかけてしまっていた場合は、復帰することはできません。バックアップした最新のファイルに戻してください。**

2　指定したフォルダへのユーザのアクセスを不可能にします。

指定したフォルダへのアクセス権をユーザから削除するなどして、間違って指定したフォルダに、ユーザがアクセスできないようにします。

3　ユーザに正しいフォルダを指定してもらいます。

ユーザに、間違って指定したフォルダへアクセスしてもらいます。
アクセスできないため、PCKey-3運用ソフトが新たにフォルダの指定を求めてきます。ユーザに正しいフォルダを指定してもらってください。

アクセス権を削除した場合
正しい設定に修正されたことを確認してください。
その上で、必要ならば、アクセス権を元に戻します。

運用のヒント

本書で説明されている機能を使う際に、気を付けるべき内容について説明します。

「共有フォルダ」利用機能を使う

●確認用ファイルを開いてください

「PCKey-3運用ソフト」を起動し、確認用ファイルを開きます。
内容が正しく表示されるなら、設定は正しくできています。
内容が正しく表示されないなら、サーバー管理者に指示をもらってください。

> **確認用ファイルとは？**
> **サーバー管理者が用意した、暗号化されたファイルです。**
> **確認用ファイルの名前が分からない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。**

●ファイルが正しく表示されない場合、保存しないでください

ファイルが正しく表示されない場合は、なんらかの設定が間違っています。
ファイルを、**保存せずに**閉じてください。
その後、サーバー管理者に指示をもらってください。

サーバー管理者の方へ

●「共有フォルダ」利用機能を運用する場合、確認用ファイルを作成してください

そのフォルダで使用する暗号鍵を使って暗号化したファイルを入れておけばユーザは、フォルダの指定が正しいかどうかを確認できます。
誤操作をする前に、指定の間違いに気づく助けとなります。

●アクセス権の管理を徹底してください

他のフォルダが指定されるのを抑止することができます。

●サーバーのバックアップはこまめにお取りください

ユーザの誤操作によって、ファイルが破壊されたときに被害を最小限に食い止めることができます。

●ユーザの誤操作はクライアント／サーバーで検知不可能です

一度保存してしまうと、そのユーザからは普通のファイルに見えます。
運用を開始してからは、ユーザの責任にてファイルの読み込み・保存をする他ありません。

フォルダアクセスの監視について
サーバー側でフォルダアクセスの監視をしていれば、アクセス履歴よりファイルがどのように作成されたかを判断する材料になります。

お問い合わせ先変更のお知らせ

弊社サポートセンターについて

・電話窓口

サポートセンターの電話番号が、製品別電話番号に変わりました。
本製品に関しては、以下の**【PC カード関連／その他】**電話窓口へお問い合わせください。

東京 ： **03-3254-1085**
金沢 ： **076-260-3661**

・電話受付時間

お客様のご要望にお応えし、電話受付時間を19:00まで延長しております。
また、お昼（12:00～13:00）も受け付けておりますので、どうぞご活用ください。

受付時間 ： **9:30~19:00**
※月~金曜日(祝祭日を除く)

・郵便窓口の住所変更

サポートセンターの郵便窓口の住所が新しくなりました。

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「PCKey-3」係　宛

弊社サービス窓口について

「バージョンアップ窓口」と「修理品納期問い合わせ窓口」が統一され、
「サービス窓口」になりました。「サポートソフトのバージョンアップ」や
「修理品の納期についてのお問い合わせ」はこちらにお願いいたします。

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サービス窓口
「PCKey-3」　宛
電話番号　　076-260-3663
受付時間　　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

PCKey-3用 ファイルサーバー対応機能ガイド
2001.Feb.06 81043-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。